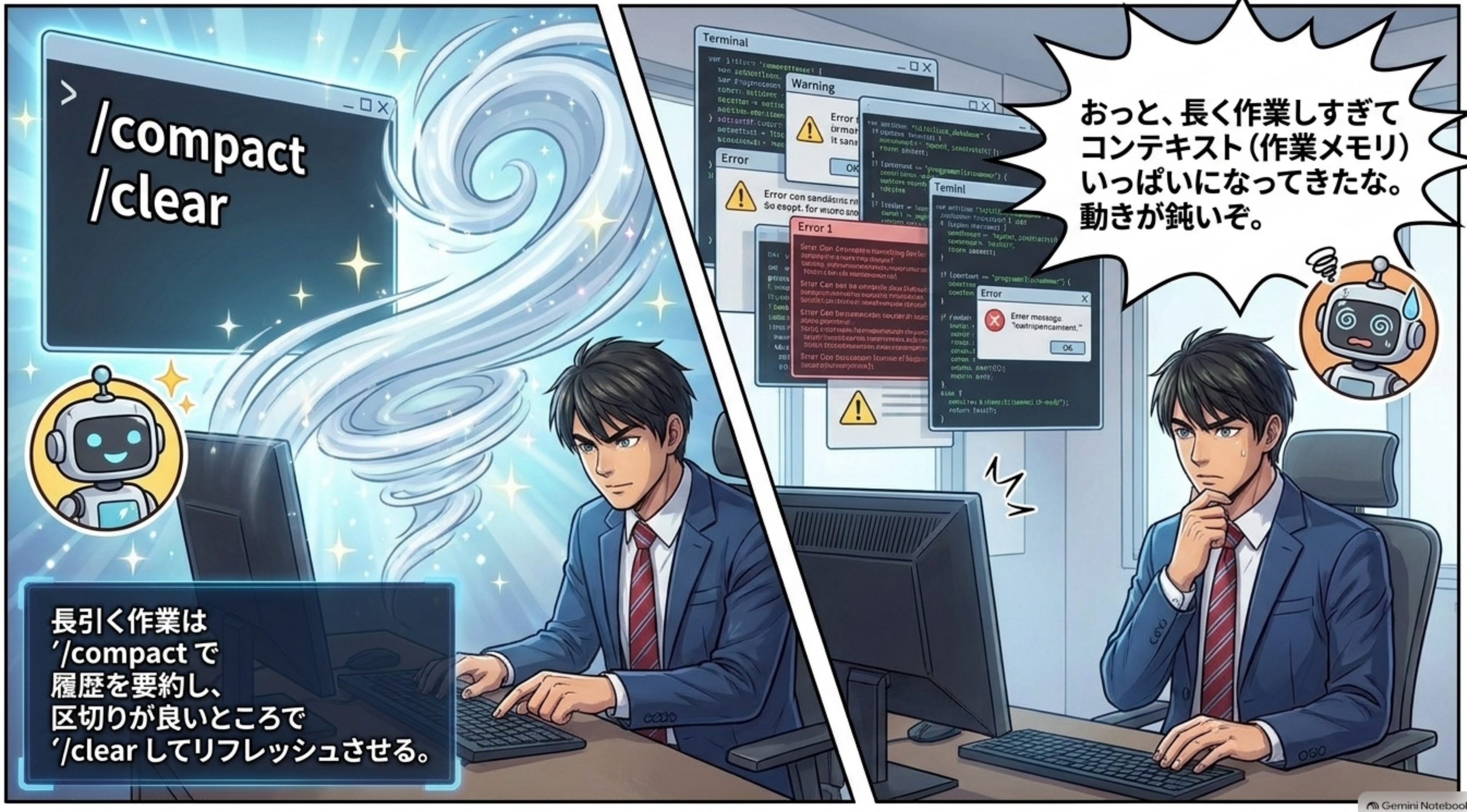

Claude Codeで迷わない！
大規模リファクタリング
安全完遂ガイド
自律型エージェントを「副操縦士」にする4つのステップ
Gemini Notebook


どこから手を付ければ…裏側でバグが爆発するんじゃ…怖い！
システムのコア部分、大規模リファクタリングを頼む。ングを頼む。
Error message...
大規模の変更は、エンジニアにとって恐怖である。
Gemini Notebook

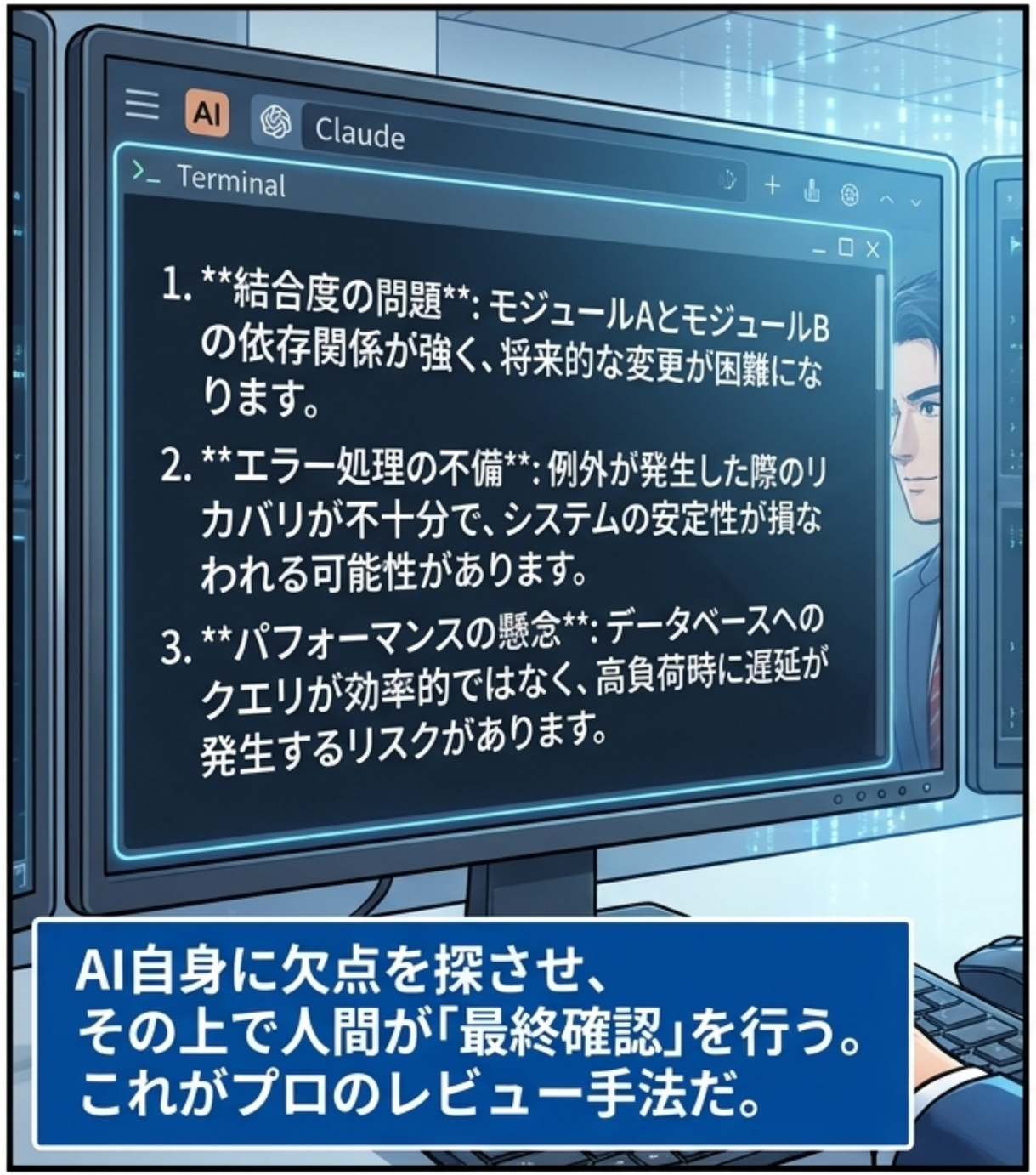

Claude Code (自律型エージェント)
従来のAI (自動化)
COPY...
PASTE...
COPY...
PASTE...
COPY...
PASTE...
ガク...
Claude Codeはチャットツールではない。
自らファイルを読み、ディレクトリを探索する「副操縦士」だ。
Gemini Notebook

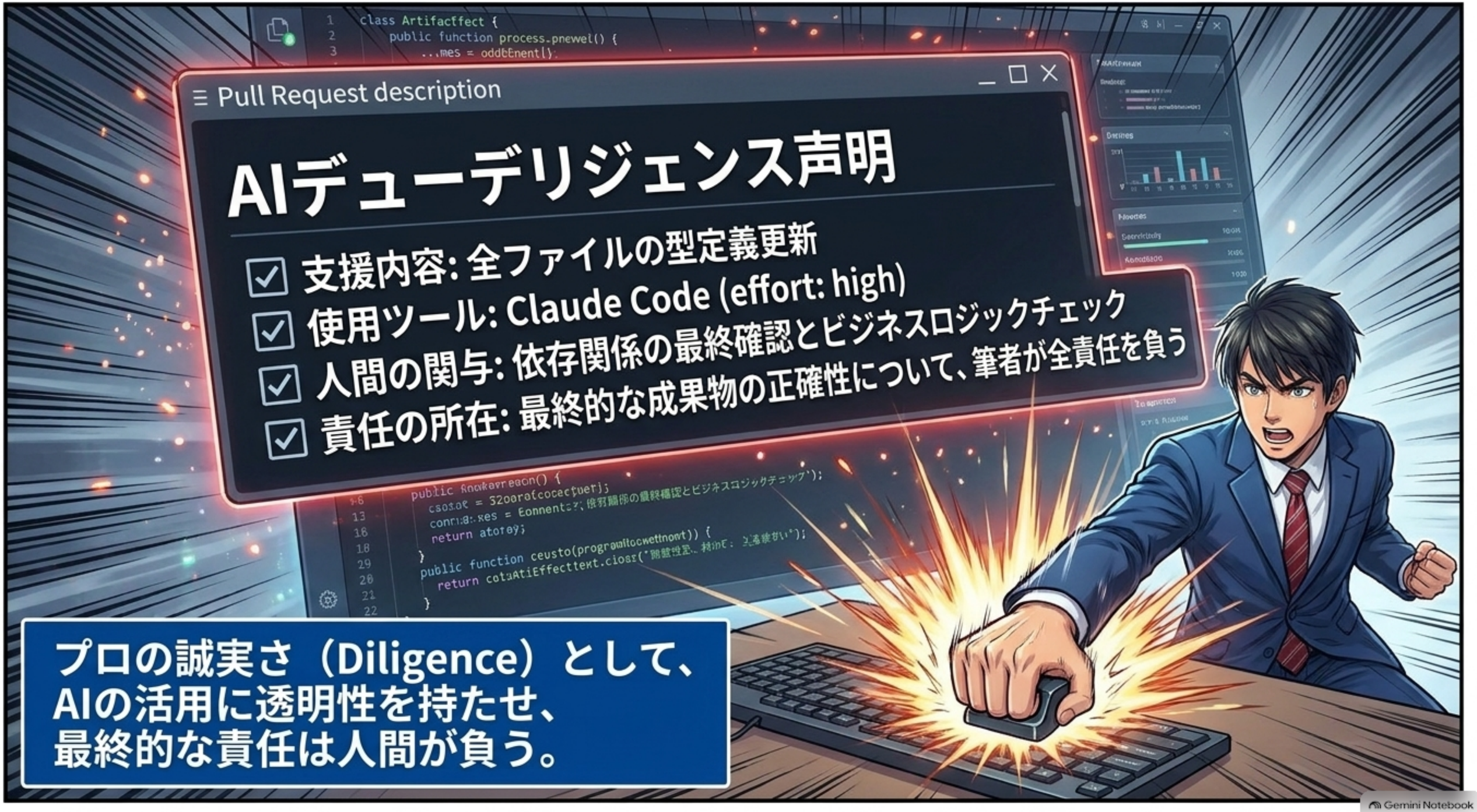

ファブローラー
CLAUDEDERS
araccsd
unyout
src
ast
.gitignore
.mncahe.md
CLAUDE.md
README.md
README.md
README.md
README.md
OUTLINE
AIの「もっともらしい嘘
（ハルシネーション）」を防ぐため、
プロジェクトの"憲法"となる永続メモリ
「CLAUDE.md」を作成する。
まずは
『共通認識』
作りからだ！
/effort high
大規模変更だから、
/effort high で
入念に二重チェック
させよう。
Gemini Notebook


「エラー分析」
「テスト実行」
「修正」
エラーが出ても
自律的に修正案を
練り直してくれる…！
人間はただ『操縦』
するだけだ。
「再修正」
「再修正」




危ない！
綺麗なコードだからって、
無批判に受け入れちゃ
ダメだ。
「アーティファクト
効果の罠！」
Approve/Merge
罠!!!
Terminal
完了しました
class ArtifactEffect {
public function process() {
public function
}




Pull Request description
AIデューデリジェンス声明
支援内容: 全ファイルの型定義更新
使用ツール: Claude Code (effort: high)
人間の関与: 依存関係の最終確認とビジネスロジックチェック
責任の所在: 最終的な成果物の正確性について、筆者が全責任を負う
プロの誠実さ（Diligence）として、
AIの活用に透明性を持たせ、
最終的な責任は人間が負う。


PASS
PASS
PASS
PASS
PASS
PASS
見事だ。
完全に
整理されいて、
すべてのテス
テストているが
通ってる。
PR Approved
恐怖だった大規模リファクタリングが、
AIという最高のチームメイトと共に歩む
「ワクワクする改善プロセス」へと変わった瞬間だ。

自律型AIを操縦する4つの力（4D AI Fluency Framework）

2

Delegation（委任力）

いきなり書かず `/search` や Plan Mode で全体像を把握。安全な地図を描く。

1

Description（記述力）

`CLAUDE.md` と `/effort high` による共通認識の構築。ハルシネーションを防ぐ土台。

4

Diligence（倫理的責任）

PRでのAIデューデリジェンス声明と、人間による最終責任の担保。

3

Discernment（評価力）

アーティファクト効果に惑わされず、推論の飛躍を見抜く「批判的視点」。

さあ、ターミナルを開き、新しい時代のエンジニアリングを体験しよう！